

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R4年度					R5年度							
			R4 担当	R4年度の取組計画(目標)	R4年度の取組実績	取組 等達成 度	R4年度の成果・効果	成果 等達成 度	R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達成 度	R5年度の成果・効果	成果 等達成 度	
1 確かな学力を育む(知育)	(1)基礎学力の定着と学力の向上	成果	小学校、中学校ともに全国上位を目指す。 【市総合計画指標】 全国学力・学習状況調査における各教科の正答率 小学校:全国平均+5ポイント 中学校:全国平均+3ポイント	(学校) 学校教育係 (指導主事)	学力調査の実施と分析 ①各種学力調査の実施 ②校長会での周知徹底 ③教育研究所と連携して調査結果の分析 ④課題のある学校への訪問と対応策の聞き取り ⑤中学校教科部会の実施	①R4.4.19 全国学力学習状況調査実施 R4.12.6～7 高知県学力定着状況調査実施 ②全ての校長会で周知(事前・事後の取組を含む) ③調査分析結果を8月・10月・2月校長会で各校に伝達 ④9～10月に全校へ訪問し実施、校長面談で聞き取り ⑤教育研究所主催で各教科で実施	A	令和4年度全国学力学習状況調査 全国平均との比較 ○小学校: 国語+5.3 算数+2.5 理科+5.0 ○中学校 国語+2.6 数学+6.4 理科+2.0	A	(学校) 学校教育係 (指導主事)	学力調査の実施と分析 ①各種学力調査の実施 ②校長会での周知徹底 ③教育研究所と連携して調査結果の分析 ④課題のある学校への訪問と対応策の聞き取り ⑤中学校教科部会の実施				
	(2)教職員の資質・指導力の向上	成果	年間を通じて3回の支援派遣を実現させる。	(学校) 学校教育係 (指導主事)	指導主事等、外部講師を招聘した校内研修の充実 ①校内研修の年間計画作成(外部講師等の招聘予定を明記)市教委に提出 ②学校経営計画の作成及び検証 ③授業改善プランの作成及び検証 ④各学期の支援派遣提出	①～④ 全18校で実施	A	3回以上実施校=18校(100%)	A	(学校) 学校教育係 (指導主事)	指導主事等、外部講師を招聘した校内研修の充実 ①校内研修の年間計画作成(外部講師等の招聘予定を明記)市教委に提出 ②学校経営計画の作成及び検証 ③授業改善プランの作成及び検証 ④各学期の支援派遣提出				
	(3)保幼小中連携教育の推進	成果	①すべての学校で保幼小中の情報交換会を実施 ②すべての小学校でスタートカリキュラムを作成	(学校) 学校教育係 (主監)	保幼小中連携教育の充実とスタートカリキュラムの作成 ①保幼小中連携教育の研究指定校の設定 ②保幼小情報交換会の開催 ③保育所長会への参加 ④小中の連携教育の実施 ⑤小学校においてスタートカリキュラムの作成	①1校1役教育研究指定において西土佐小中学校を指定 ②、⑤全13小学校にて実施 ②8月に保育所長と小学校長の合同研修会を実施 ③6月の保育所長会に参加 ④全18校で実施	①全18校で実施(100%) ②全13校で作成(100%)	A	A	(学校) 学校教育係 (主監)	保幼小中連携教育の充実とスタートカリキュラムの作成 ①保幼小中連携教育の研究指定校の設定 ②保幼小情報交換会の開催 ③保育所長会への参加 ④小中の連携教育の実施 ⑤小学校においてスタートカリキュラムの作成				
	(4)国際理解教育・英語教育の充実	成果	①「全国学力・学習状況調査」英語において全国平均以上をめざす。 ②中3卒業段階において英語検定3級程度取得50%以上をめざす。	(学校) 学校教育係 (主監)	英語教育・外国語活動の充実 ①英語検定3級受験料半額補助 ②ALTの重点配置校の指定による英語力の底上げ ③小学校外国語活動に係る研修会の実施 ④中学校における4技能スコア型検定試験GTECの実施 ⑤四万十イングリッシュ・フェスティバルの実施	①年度内に事業実施(52名助成) ②重点配置校3校(中村中、中村西中、西土佐中)を指定 ③5月、12月の年間2回実施 ④10月に実施 ⑤12月にイングリッシュ・ウィンタースクールを実施	①全国学力・学習状況調査の英語がない年度のため標準学力調査の英語の結果を用いて評価(全国平均との比較) 本市中学3年生57.2÷全国平均54.1=成果目標に対する達成率105.7% ②中3卒業段階における英語検定3級程度取得率33.6%(成果目標に対する達成率67.2%) 両目標の達成率平均86.5%	A	B	(学校) 学校教育係 (主監)	英語教育・外国語活動の充実 ①英語検定3級受験料半額補助 ②ALTの重点配置校の指定による英語力の底上げ ③小学校外国語活動に係る研修会の実施 ④中学校における4技能スコア型検定試験GTECの実施 ⑤イングリッシュイベントの実施				
	(5)特別支援教育の推進	活動	①障害のある子どもの能力や特性を最大限に伸ばす。 ②発達障害のある子ども、あるいはその疑いや傾向がみられる子どもの学習・生活支援 ③障害のある子どもの適正就学 ④特別支援教育学校コーディネーターの専門性の向上 ⑤校内支援体制の強化	(学校) 学校教育係 (主監)	ユニバーサルデザインに基づく学習環境の充実 特別支援教育支援員配置 相談支援体制の整備 特別支援教育学校コーディネーター研修会の実施	全18校で実施 10校への支援員を通年配置 特別支援教育支援員研修会の実施(R4.5.6) 教育相談実施(53人) 巡回相談実施(59人) 年間2回実施 1回目:オンデマンド研修 2回目:11月に実施	①学習環境の充実が図られた ②支援員を配置した10校において学習・生活支援が実施された ⑤支援員の配置により校内支援体制が強化された	A A A A	○ ○ ○ ○	(学校) 学校教育係 (主監)	ユニバーサルデザインに基づく学習環境の充実 特別支援教育支援員配置 相談支援体制の整備 特別支援教育学校コーディネーター研修会の実施				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R4年度					R5年度						
			R4 担当	R4年度の取組計画(目標)	R4年度の取組実績	取組 等達成 度	R4年度の成果・効果	成果 等達成 度	R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達成 度	R5年度の成果・効果	成果 等達成 度
1 確かな学力を育む(知育)	成果	複式学級を有するすべての学校において、複式教育の充実を図るために、各種研修会に全員2回以上参加	(学校) 学校教育係 (指導) 主事	<b>複式教育の充実</b> ①複式教育研究大会の実施 ②小小連携教育の推進 ③授業づくり講座への参加	①中筋小学校で実施 ②市内小規模校の①、③への参加 ③拳ノ川小学校(黒潮町)への参加	A	・複式小学校8校中全校において研修に2回以上参加(100%)	A	(学校) 学校教育係 (指導) 主事	<b>複式教育の充実</b> ①複式教育研究大会の実施 ②小小連携教育の推進 ③授業づくり講座への参加				
	成果	市内小中学校全校において、PC1人1台環境を目指す。	(学校) 学校教育係 (指導) 主事	<b>ICT機器及び通信環境の整備</b> ①PCの整備(小学校3、4年生分) ①導入したPCの授業等における利活用の推進(教職員の研修、授業用ソフト・デジタル教科書の活用等)	①全18小中学校において、1日2～3回は授業で活用 ①県の整備した、オンライン学習を支援する学習支援プラットフォーム「高知家まなびばこ」の活用 ①デジタルドリルを活用して、全18小中学校において持ち帰りの実施	A	令和2年度に達成済み	A	(学校) 学校教育係 (指導) 主事	<b>ICT機器及び通信環境の整備</b> ①PCの整備(小学校1、2年生分) ①導入したPCの授業等における利活用の推進(教職員の研修、授業用ソフト・デジタル教科書の活用等)				
	活動	「情報活用能力」を教科等横断的に育成する。	(学校) 学校教育係 (指導) 主事	各校におけるプログラミング教育の充実	全18校においてアンプラグドも含めたプログラミング教育を実施した。	A	プログラミング教育の実施を通して「情報活用能力」が教科等横断的に育成された。	O	(学校) 学校教育係 (指導) 主事	各校におけるプログラミング教育の充実				
2 子どもたちの豊かな心を育む(徳育)	成果	全国学力・学習状況調査における児童生徒の道徳性(自尊感情、規範意識)意識調査結果で、全国平均を3ポイント以上上回る。	(学校) 学校教育係 (指導) 主事	<b>四万十市・三原村道徳教育推進委員会の開催・運営</b> ①4月・2月に全体の推進委員会の開催 ②小・中それぞれで公開授業研修会及び授業反省会の実施 ③実践のまとめ作成	①R4.6、R4.11、R4.12に実施 ②利岡小学校・中村中学校で実施 ③道徳の成果や課題学習、学習指導案をまとめた集録を全18校で作成	A	令和4年度全国学力学習状況調査 児童生徒質問紙設問(7)、(12)、(13)の肯定的評価割合の平均 ○小学校 ±0 全国88.3、本市88.3 ○中学校 +1.7 全国87.7、本市89.4 達成率:99.2%=(本市88.3+89.4)÷(全国88.3+3+87.7+3)	A	(学校) 学校教育係 (指導) 主事	<b>四万十市・三原村道徳教育推進委員会の開催・運営</b> ①4月・2月に全体の推進委員会の開催 ②小・中それぞれで公開授業研修会及び授業反省会の実施 ③実践のまとめ作成				
	成果	不登校の発生率を全国平均以下に改善する。	(学校) 学校教育係 (主) 監	<b>生活指導・生徒指導の充実【不登校・問題行動等調査】</b> ①月ごとの3日以上欠席者調査及び個々の状況把握とその分析(教育研究所) ②教育支援センター不登校児指導員・SSWによる家庭訪問 ③不登校担当者会の年2回の実施 ④学校訪問の実施	①月報により実施 ②教育支援センターに不登校児指導員4名、SSW2名を配置し、適宜適切に実施した。 ②学校配置SSWについても適宜家庭訪問を実施した。 ③6月、11月に実施 ④6-7月及び9-10月に全校実施	A	令和3年度不登校人数(1,000人あたりの出現率) 小学校12.6人(全国13.0人) 中学校56.0人(全国50.0人) 全国平均(13+50)÷本市実績(12.6+56.0)=91.8%	A	(学校) 学校教育係 (主) 監	<b>生活指導・生徒指導の充実【不登校・問題行動等調査】</b> ①月ごとの3日以上欠席者調査及び個々の状況把握とその分析(教育研究所) ②教育支援センター不登校児指導員・SSWによる家庭訪問 ③不登校担当者会の年2回の実施 ④学校訪問の実施				
	成果	要支援群の子どもたちを減少させ、学級の満足群の子どもたちの割合を高める。	(学校) 学校教育係 (主) 監	<b>Q-Uアンケートの実施・分析を通じた学級づくりの推進</b> ①1学期及び2学期後半のQ-U実施を通して学級の状況把握 ②各学級の実態について共有化を図り、課題のある子どもへの対応策の実施	①全18校で実施 ②全18校で、校内研修や校内支援会において共有化・対応策の検討	A	1学期結果:70.6% 2学期後半:73.9% 満足群の子どもの割合が高まった(104.7%)。	A	(学校) 学校教育係 (主) 監	<b>Q-Uアンケートの実施・分析を通じた学級づくりの推進</b> ①1学期及び2学期後半のQ-U実施を通して学級の状況把握 ②各学級の実態について共有化を図り、課題のある子どもへの対応策の実施				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R4年度					R5年度						
			R4 担当	R4年度の取組計画(目標)	R4年度の取組実績	取組 等達成 度	R4年度の成果・効果	成果 等達成 度	R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達成 度	R5年度の成果・効果	成果 等達成 度
2 子どもたちの豊かな心を育む(徳育)	成果	(3)安全・防災教育の充実	学 校 総 務 教 育 係 課	<b>防災教育の推進・避難訓練の実施</b> ①危機対応マニュアル(防災マニュアル)の整備 ②「高知県安全教育プログラム」を使用した防災教育の実施率を100%とする。	①全18校において整備済みの危機対応マニュアルについて各校において見直しを行った。 ②③全18校にて実施	A	①各校において避難訓練の実施 年3回以上校が100% ②実施率100%	A	学 校 総 務 教 育 係 課	<b>防災教育の推進・避難訓練の実施</b> ①危機対応マニュアル(防災マニュアル)の整備 ②想定状況を違えた年3回以上の避難訓練の実施 ③「高知県安全教育プログラム」を活用した防災教育の実				
	成果	(4)学校・家庭・地域の連携強化	学 校 教 育 係 課	①市内全域の小中学校において学校地域支援本部事業に取り組む ②コミュニティ・スクールの設置に努める。	①全18校を対象に15本部で実施。 ②中筋小学校に新設、西土佐中学校運営協議会の所管範囲を西土佐小学校まで拡大。 ③未設置校4校においてR5年度設置に向けて人選及び事前協議に取り組んだ。	A	①18校で実施(100%) ②新設1校だが、目標年度はR5年度のためR4での成果判定を行わない。	A	学 校 教 育 係 課	<b>学校支援地域本部事業</b> ①学校支援地域本部事業推進 ②コミュニティ・スクールの拡充				
	成果	(5)ふるさと教育の推進	(学 校 教 育 係 課 主 担)	①すべての学校の年間指導計画にふるさと学習を位置づける。 ②研究発表会に、すべての小学校が参加する。	①全18校で実施 ②大用小、下田中、大用中を指定 ③「ふるさと発見! 四万十の子ども研究発表会」の開催	A	①全18校で位置づけ(100%) ②2/12に実施し、市内全小学校13校から15チーム76名の参加を得た(100%)。	A	(学 校 教 育 係 課 主 担)	<b>ふるさと教育の推進</b> ①各学校の年間指導計画に位置づけ ②四万十市一校一役教育研究の研究指定校の指定 ③「ふるさと発見! 四万十の子ども研究発表会」の開催				
	活動	(6)キャリア教育の充実	(学 校 教 育 係 課 指 導 主 事)	キャリアパスポート(学習記録ノート)を作成・活用する。	キャリアパスポート(学習記録ノート)を作成・活用	A	社会で人と人が関わりながら生きていくために欠かせないスキルが身に付き、コミュニケーション能力の向上に繋がった	○	(学 校 教 育 係 課 指 導 主 事)	キャリアパスポート(学習記録ノート)を作成・活用				
	活動	(7)環境教育の推進	学 校 教 育 係 課	四万十川に代表される豊かな自然や水資源、森林資源など地域の恵まれた自然環境を有効活用し、体験活動を通して自然保護に対する意識の高揚を図る。	コロナ禍のため未実施(中学校で合同実施を計画)	C	未実施のため評価不能(自然体験活動を通して自然保護に対する意識の高揚を企図)	△	学 校 教 育 係 課	<b>自然体験型学習事業</b> 自然体験・環境教育に関する教育活動				
	活動	(7)環境教育の推進	学 校 総 務 教 育 係 課	山の学習支援事業の実施	市内5校を対象に実施。	A	自然環境を有効活用した学習を通して自然保護に対する意識の高揚が図られた。	○	学 校 教 育 係 課	山の学習支援事業の実施				
	成果	(8)教育環境の整備	学 校 総 務 教 育 係 課	<b>四万十市立小・中学校再編計画(第2次)の推進</b> ①後川中学校、下田中学校(竹島小学校区)、八東中学校、東中筋中学校、中筋中学校の統合 ②下田中学校の移設 ③スクールバスの運行 ④児童生徒の事前交流事業等の取り組み ⑤未合意校区との意見交換会、保護者アンケート等の実施	①各校区について統合が完了。 ②下田中学校についても下田小学校校舎の一部を改修し、移設完了。 ③既存のスクールバスに加え、新規統合校区のスクールバスについても円滑に運行している。 ④コロナウイルス感染症の状況に応じた事前交流事業の実施 ⑤未合意校区についてはPTAや地域に対して意見交換を呼びかけ、役員レベルでの協議を実施しており、アンケート実施に向けた調整を行っている。	A	本年時点での中学校再編に係る実施率87.5%(7校/8校)	B	学 校 総 務 教 育 係 課	<b>四万十市立小・中学校再編計画(第2次)の推進</b> ①児童生徒の事前交流事業等の取り組み ②下田中学校の移設 ③スクールバスの運行 ④未合意校区との意見交換会、保護者アンケート等の実施				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R4年度					R5年度						
			R4 担当	R4年度の取組計画(目標)	R4年度の取組実績	取組 等達成 度	R4年度の成果・効果	成果 等達成 度	R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達成 度	R5年度の成果・効果	成果 等達成 度
3 健やかな身体を育む (体育)	成果	<p>①体育・保健体育の授業が楽しいと思う児童生徒の割合95%以上を目指す。</p> <p>②【市総合計画指標】全国体力・運動能力、運動習慣等調査におけるT得点 小学校:全国平均以上 中学校:全国平均+3ポイント</p>	学学校 校教育 係課 (主 監)	<p><b>体力・運動能力向上に向けた特色ある取組</b></p> <p>児童生徒の実態に基づく体力向上策の策定と実施(学校経営計画との関連を図る)</p>	全18校で学校経営計画に体力向上策を位置づけ、実施	A	<p>①本市小学5年生及び中学2年生における肯定的評価91.3%÷成果目標95.0%=成果目標に対する達成率 96.1%</p> <p>②小学5年男女平均T得点53.5点÷全国平均50点=成果目標に対する達成率107%</p> <p>③中学2年男女平均T得点52.6点÷成果目標53点=成果目標に対する達成率99.2%</p>	A	学学校 校教育 係課 (主 監)	<p><b>体力・運動能力向上に向けた特色ある取組</b></p> <p>児童生徒の実態に基づく体力向上策の策定と実施(学校経営計画との関連を図る)</p>				
	成果	<p>規則正しい生活リズムが身に付いている(毎日、同じくらいの時刻に起床)児童の割合75%以上、生徒の割合65%以上とする。</p>	学学校 校教育 係課 (主 監)	<p><b>基本的な生活習慣の定着に向けた学校と家庭が連携した取組の推進</b></p> <p>①学期に1回のアンケート調査の実施 ②学校便り等によるアンケート結果の家庭への情報提供 ③食生活調査の実施 ④学校給食摂取基準の作成(体重、身長から栄養価を出す。肥満傾向児出現率の算出) ⑤朝ごはんコンテストの実施(給食献立に採用) ⑥給食時間の放送(早寝早起きについて啓発)</p>	<p>①全18校で実施。 ②全18校で実施。 ③6月実施。小5、中1対象。 ④4.5月実施の身体測定結果より計算し、7月摂取基準作成。 ⑤8月実施。小5以上対象。応募478、採用24件。 ⑥毎月実施。</p>	A	<p>(全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙 令和4年度調査結果)設問「毎日、同じくらいの時刻に起きている」に対する「そう思う」の回答率 児童53.6%、生徒65.2%(達成率104.6%=(53.6+65.2)/(56.8+56.8))</p> <p>(参考:肯定的回答率 児童91.7%、生徒 93.1%)</p>	A	学学校 校教育 係課 (主 監)	<p><b>基本的な生活習慣の定着に向けた学校と家庭が連携した取組の推進</b></p> <p>①学期に1回のアンケート調査の実施 ②学校便り等によるアンケート結果の家庭への情報提供 ③食生活調査の実施 ④学校給食摂取基準の作成(体重、身長から栄養価を出す。肥満傾向児出現率の算出) ⑤朝ごはんコンテストの実施(給食献立に採用) ⑥給食時間の放送(早寝早起きについて啓発)</p>				
	成果	<p>朝食を必ず食べる児童の割合を95%以上、生徒の割合を90%以上とする。</p>	学学校 校給食 教育 係課	<p><b>食事の重要性について理解を図る年間指導計画の作成</b></p> <p>①食に関する指導の全体計画及び年間指導計画に基づく食育の推進 ②学校給食の献立から減塩化を図る</p>	①～② 全18校で実施	A	<p>(令和4年度 食に関する指導の実施状況調査)朝食を必ず食べる児童の割合85%、生徒の割合77%(達成率87.6%=(85+77)/(95+90))</p>	B	学学校 校給食 教育 係課	<p><b>食事の重要性について理解を図る年間指導計画の作成</b></p> <p>①食に関する指導の全体計画及び年間指導計画に基づく食育の推進 ②学校給食の献立から減塩化を図る</p>				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R4年度					R5年度					
			R4 担当	R4年度の取組計画(目標)	R4年度の取組実績	取組 等達成 度	R4年度の成果・効果	成果 等達成 度	R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達成 度	R5年度の成果・効果
4 地域文化の振興	成果	(1)文化財の保護	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	文化財調査の実施 ①開発事業に伴う試掘確認調査及び報告書作成、遺物整理 ②博物館展示のための調査 ③博物館収蔵資料に関する調査	①開発事業に伴う試掘確認調査及び報告書刊行、遺物整理 ②博物館展示のための調査 ・あそびあるき展関連調査 ・学制150年記念展関連調査 ・土器展関連調査 ・七星剣年代調査(1年目) ③博物館収蔵資料に関する調査 ・寄贈資料確認調査	A	①4件(年間目標4件に対し100%) ②新規県指定文化財計画期間中累計1件(3年目累計目標1.2件に対し83%) ③博物館企画展3回(年間目標2回に対し150%) ④収蔵資料増加数14点(年間目標2点に対し700%)	S	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	文化財調査の実施 ①開発事業に伴う試掘確認調査及び報告書作成、遺物整理 ②博物館展示のための調査 ③博物館収蔵資料に関する調査		【年度毎に漸増する成果指標の記載例備忘】 ②新規県指定文化財計画期間中累計●件(4年目累計目標1.6件に対し●%)	
	成果	(2)郷土文化の活用	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	郷土博物館の運営 ①年間4回の企画展開催 ②小中学校と連携したふるさと教育への活用 ③普及イベントの開催	①年間3回の企画展開催 ・海辺のあそびあるき展: R4.5月～8月 ・うちんとこの学校展: R4.10～R5.2月 ・博物館の歩き方 土器編: R5.2～5月 ②小学校13校、中学校2校、高校2校で出前授業等を実施 ③博物館クイズラリー実施	A	博物館来館者数 4,279人(令和4年度目標8200人に対し52%)	C	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	郷土博物館の運営 ①年間4回の企画展開催 ②小中学校と連携したふるさと教育への活用 ③普及イベントの開催			
	成果		文化的景観の保全について各種事業と適切な調整が行われ、効果的な活用が継続される。 【市総合計画指標】 地域文化に関する講座数年間25回	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	四万十川の文化的景観の保全・継承 ①まち歩きと連動したサイト運営 ②保存計画整理中のため未実施 ③保存計画改定に合わせて検討中 ④コロナのため未実施 ⑤くろそん手帖ツアー、展覧会の開催 ⑤保存計画刊行	①まち歩きと連動したサイト運営 ・企画展連携1回 ②保存計画整理中のため未実施 ③保存計画改定に合わせて検討中 ④コロナのため未実施 ⑤くろそん手帖ツアー、展覧会の開催 ・流域会議2回開催 ・市検討会議1回開催 ・保存計画原稿完成	A	地域文化に関する講座23回(団体講座6回、出前授業17回計23回)(目標回数に対し92%)	A	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	四万十川の文化的景観の保全・継承 ①まち歩きと連動したサイト運営 ②企画展の開催 ③重要な構成要素追加協議 ④流域市町連携事業実施 ⑤整備活用計画改定		
5 青少年の育成	成果	(1)青少年健全育成活動の充実	少年 学校 教育 センター	少年補導センター活動 ①街頭巡回 ②環境浄化活動 ③学校における情報モラル教室(非行防止教室)の開催 ④インターネット接続機器のフィルタリングの普及啓発(インターネットの利用ルール啓発)	①(3月末実績) 午前巡回 222回 下校時巡回 200回 合同早朝パト 20回 夜間パト 10回 ②(3月末実績) 巡回時の声かけ186回、指導65回(登下校時、量販店、公園、遊泳場等) ③4会場6教室で実施 ④インターネット利用に関するアンケート実施、幡多っ子ネット宣言の啓発	A	①3年度目の目標校数11校(全18校の3/5)に対し、計画期間中累計実施校数11校 ②年間補導人数 0人	A	少年 学校 教育 センター	少年補導センター活動 ①街頭巡回 ②環境浄化活動 ③学校における情報モラル教室(非行防止教室)の開催 ④インターネット接続機器のフィルタリングの普及啓発(インターネットの利用ルール啓発)		【年度毎に漸増する成果指標の記載例備忘】 ①4年度目の目標校数15校(全18校の4/5)に対し、計画期間中累計実施校数●校	
	活動		社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	○青少年健全育成事業の実施	○考古学講座の実施(3月予定) ○博物館クイズラリー(企画展と連動。通年) ○まちなか探偵団の実施	A	西土佐地域と中村地域の青少年健全育成団体が合併し、より効果的に事業実施ができるよう取り組んでいる。	○	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	○青少年健全育成事業の実施			

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R4 担当	R4年度				R5年度						
				R4年度の取組計画(目標)	R4年度の取組実績	取組 等達成 度	R4年度の成果・効果	成果 等達成 度	R5担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達成 度	R5年度の成果・効果	成果 等達成 度
6 生涯学習の振興	成果	図書環境の整備充実 【市総合計画指標】 ①図書館利用者登録率(人口比17.2%) ②市民一人当たり貸出点数(5.07冊) ③ネット予約冊数(700冊)	公民館生涯学習係	○指定管理による図書館運営 ○子ども読書活動の推進	○図書館連絡会の開催(毎月) ○子ども読書活動推進委員会(3回) ○第三次計画策定 ○子ども読書アンケートの実施(12～1月)	A	①図書館利用者登録率13.3%(目標17.2%に対し77.3%) (令和5年3月末現在4,287人) ②市民一人当たり貸出点数4.25冊(目標5.07冊に対し83.8%)(令和4年度136,979冊) ③ネット予約冊数1,891冊(目標700冊に対し270.1%) ネット予約については環境整備により目標冊数を大幅に上回ったが、①②につなげていないことから、成果等達成度については総合判断としてBとした。	B	公民館生涯学習係	○指定管理による図書館運営 ○子ども読書活動の推進				
	成果	市立中央公民館の閉館後においても、令和元年度に実施した生涯学習事業と同等の事業展開を図る 【市総合計画指標】 生涯学習講座の参加者数400人	公民館生涯学習係	生涯学習活動の継続及び支援 ①既存施設を利用した生涯学習事業の継続 ②登録団体への支援	①四万十シルバー教室(延べ203人) ①中国語講座(18人) ①中国文化交流講座(12人) ①市民大学(3講座:234人) ①高知大学出前公開講座(3講座:63人)、オンライン版 ①陶芸体験教室(11人) ①ランブシェード工作教室(16人) ①お正月飾りづくり教室(16人) ②登録団体の活動支援として、団体の施設使用料の一部負担をした。(R4.4月～R5.3月)	A	生涯学習講座の総参加者数 573人/400人=143.3%	S	公民館生涯学習係	生涯学習活動の継続及び支援 ①既存施設を利用した生涯学習事業の継続 ②登録団体への支援				
	成果	管理運営実施計画や実施設計の策定	文化複合生涯学習施設整備推進室	文化複合施設整備に係る支援 ①施設建設に係る支援及び助言 文化複合施設整備に係る工事等の実施 ①工事監理業務委託 ②施設建設工事(建築主体工事、電気設備工事、機械警備工事、舞台設備工事)の実施 ③施設映像音響・情報表示設備工事の実施 ④施設情報ネットワーク工事の実施 ⑤施設備品購入契約の締結	①委託により適切に実施。 ②それぞれの工事について、インプレスライドや工事内容の変更、工期の延長に伴う契約金額の見直しを行い、変更契約を締結。完成までの工期を2ヶ月延長して実施。 ③④ ②の電気設備工事の中で実施するよう変更契約済。(④の一部は令和5年度に発注。) ⑤舞台照明備品、舞台大道具備品、舞台音響備品、コンサートグランドピアノ及び附属品について、それぞれ契約締結済。	A	新型コロナウイルス感染症の影響により遅れを生じ、工期が2ヶ月延長となったが、令和6年4月の開館には支障がないよう進めることができています。	A	文化複合生涯学習施設整備推進室	文化複合施設整備に係る支援 ①施設建設に係る支援及び助言 文化複合施設整備に係る工事等の実施 ①工事監理業務委託 ②施設建設工事(建築主体工事、電気設備工事、機械警備工事、舞台設備工事)の実施 ③施設映像音響・情報表示設備工事の実施 ④施設情報ネットワーク工事の実施 ⑤施設備品購入契約の締結				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R4年度					R5年度					
			R4 担当	R4年度の取組計画(目標)	R4年度の取組実績	取組 等達成 度	R4年度の成果・効果	成果 等達成 度	R5 担当	R5年度の取組計画(目標)	R5年度の取組実績	取組 等達成 度	R5年度の成果・効果
6 生涯学習の振興	成果	設置目的の異なる施設を複合化した施設となるので、管理や運営に必要な事項を定め、スムーズな開館・運営を行う	文化複合生涯学習整備課推進室	文化複合施設開館準備 ①指定管理者の公募・指定 ②開館記念事業の準備 ③プレイベントの実施	①公募により3者の応募あり。R4.12.27指定管理者を指定。 ②市民ワークショップにて意見を聴取。(2回開催) ③施設愛称を公募(応募881作品)。R4.8.18愛称を「しまんとびあ」に決定。 ④R4.10.1映画上映会&青空マルシェ&ファッションショー開催。(来場者約550人、ボランティア28人) ⑤落語公演(中村小学校5・6年生81人) ⑥ダンスワークショップ・意見交換会(中・高校生26人、小学生・大人42人、竹島小学校全校生徒64人)	A	令和6年4月予定の開館に向け、概ね順調に進捗している。	A	文化複合生涯学習整備課推進室	文化複合施設開館準備 ①附属備品使用料の決定(規則の制定) ②施設ホームページの作成 ③施設受付開始・対応 ④プレイベントの実施 ⑤開館記念事業の計画作成 ⑥指定管理業務仕様書の作成			
	活動	質の高い芸術文化に触れる機会を確保し、文化芸術に関わる人材の育成、団体活動の支援を行う	公民館運営係・生涯学習課・社会教育振興係	①四万十市美術展の実施 ②四万十川国際音楽祭の実施 ③四万十市文化祭の実施	①運営委員会(3回) ①四万十市美術展(11月。入場者883人) ②実行委員会(3回) ②中村交響楽団演奏会(7月、500人) ②中村交響楽団演奏会in西土佐(9月、62人) ②ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シトゥットガルト(八重奏)(10月、238人) ②県立美術館他主催コンサート(1月。共催事業) ②ジュニア弦楽アンサンブル講座(R4.6月～R5.3月) ③執行委員会(2回) ③文化祭参加団体への支援(8月～12月。参加団体26団体) ③合同文化祭の実施(11月) ○その他 ・子ども演劇祭実行委員会(3回) ・最後の清流四万十川写真展作品(16点)展示	A	コロナ禍感染対策をしながら、市民が芸術に親しむ機会と自ら参加する場を提供、文化芸術の振興に寄与した。	○	公民館運営係・生涯学習課・社会教育振興係	①四万十市美術展の実施 ②四万十川国際音楽祭の実施 ③四万十川子ども演劇祭の実施 ④四万十市文化祭の実施			
	活動	人権問題の学習機会の充実を図る	生涯学習係	①人権教育推進講座の開催 ②人権教育研究大会の開催	①11月に計4回開催。延べ71名参加。 ②8/5開催。教職員、保育士を中心に延べ328名参加。	A	コロナ感染予防対策を実施しながら講座や大会が開催できた。また県の男女共同参画講座のサテライト会場を誘致するなど人権教育の学習機会創出を図れた。	○	生涯学習係	①人権教育推進講座の開催 ②人権教育研究大会の開催			
	活動	男女共同参画意識の形成を図る	生涯学習係	①男女共同参画講座の開催 ②男女共同参画計画の推進及び中間評価	①文化教室(5種、計29回)、講演(2回) ②男女共同参画計画推進協議会開催(2回)、男女共同参画計画中間見直し版の策定、婦人会活動支援(補助金等)	A	働く婦人の家講座を継続しながら、男女共同参画に資する講座を取り入れたが、参加者が少なく、意識形成の達成度は低い。男女共同参画計画の中間見直しにより課題と今後の方針を再認識できた。	△	生涯学習係	①男女共同参画講座の開催 ②男女共同参画計画の推進			

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R4 担当	R4年度				R5年度					
				R4年度の取組計画(目標)	R4年度の実績	取組等達成度	R4年度の成果・効果	成果等達成度	R5年度取組計画(目標)	R5年度の実績	取組等達成度	R5年度の成果・効果	成果等達成度
7 スポーツの振興	成果	<p>①教室後のアンケート調査において満足群の参加者の割合を高める。</p> <p>満足群率目標80%</p> <p>②【市総合計画指標】1人当たりの社会体育施設利用者数(5.0回人口比)</p>	スポ生   生涯学習振興課係	<p>①「藤川球児」氏による少年野球教室(7/29、未経験参加者13名)</p> <p>①スケートボード体験会(11/27産業祭内企画、未経験参加者4名)</p> <p>②「佐藤弘道」氏による親子体操教室(7/9、参加者63名)及び指導者向け実技講習(7/10、参加者29名)</p> <p>③温水プール電動バブル修繕、武道館非常用発電機修繕、あいのさわテニスコート陥没修繕、温水プール浄化槽プレート、スケートパーク路面改修</p>	A	<p>①日体大連携事業2教室のアンケート結果、92名中91名が満足、大変満足との結果を得た。(99%) (その他の教室はアンケート未実施のため、評価不能。)</p> <p>②令和4年度4.1回(12月末時点集計、目標に対し82%)</p> <p>本項達成度平均90%</p>	A	スポ生   生涯学習振興課係	<p>スポーツ人口の裾野拡大及び市民スポーツの普及</p> <p>①スポーツ体験教室</p> <p>②日本体育大学スポーツ等連携事業</p> <p>③体育施設の計画的な老朽化対策</p>				
	活動	<p>①交流人口増大</p> <p>②地域経済活性化</p> <p>③市民スポーツ意識の向上</p> <p>④競技力の向上</p>	スポ生   生涯学習振興課係	<p>四万十川リバーサイドフルウォークの実施及び大会のあり方等の見直し</p>	A	<p>好天にも恵まれ、参加者それぞれが初春の四万十川沿いを堪能した。大会のあり方や役割について、実行委員会で議論した結果、今年度(第33回)をもって、大会を終了することとした。</p>	○	スポ生   生涯学習振興課係	<p>四万十川リバーサイドフルウォークの実施及び大会のあり方等の見直し</p>				
				<p>四万十川ウルトラマラソンの実施</p>	C	<p>中止のため効果不明</p>	△		<p>四万十川ウルトラマラソンの実施</p>				
				<p>【スポーツ合宿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>香川高専硬式野球部(12/24～25) 25名</li> <li>同志社大学硬式野球部(2/16～26予定) 45名</li> <li>京都先端科学大学準硬式野球部(3/1～5予定) 21名</li> <li>札幌学院大学硬式野球部(3/9～23予定) 55名</li> <li>土佐高校弓道部(3/28～30) 32名</li> </ul> <p>※コロナにより中止となった合宿:日体大男子柔道部合宿</p> <p>【誘致活動】 東京方面(11/17～19)</p>	A	<p>新型コロナウイルス感染症も落ち着きが見られるようになったことで、徐々に合宿が実施されており、交流人口の拡大や本市経済への良い効果が図られたと考える。</p> <p>誘致活動については、東京近郊の大学を中心に旅行会社数社を訪問。本市を候補地としてリストアップいただけるなどの好感触を得られた。</p>	○		<p>スポーツ合宿等の誘致活動 (※観光商工課、観光協会、県観光コンベンションスポーツ協会などと連携)</p>				
<p>西日本一般男子ソフトボール大会</p> <p>①2022男子ソフトボールアジア選手権の実施</p> <p>②2022U23男子ソフトボールアジア選手権の実施</p> <p>③西日本シニア男子ソフトボール大会の実施</p>	A	<p>①・②県内初となるソフトボールの国際大会と③西日本クラスのソフトボールの公式試合を本市で開催できたことで、市民が高いレベルのスポーツに触れることができ、また両大会ともに参加選手団、大会役員、運営係員等の宿泊場所の殆どが本市であったこと等から、飲食等を中心に地域の経済効果は図れ、地元住民との交流にも寄与した。</p>	○										

○目標種別

成果 = 施策に「主な取り組み表」があるものは「成果」目標があるものとして取り扱い、「成果」を選択する  
 活動 = 施策に「主な取り組み表」が無く、また本文に成果目標が無いものは「活動」を選択する  
 ※「活動」の場合、各施策の本文中で目指している「効果」を効果目標として記入する。

○取組等達成度評価区分

S=計画以上の実施  
 A=計画通り  
 B=実施内容が計画より低水準  
 C=未実施

○成果等達成度評価区分

・成果区分(目標種別が「成果」の施策)  
 S=達成度が105%以上  
 A=達成度が90%以上105%未満  
 B=達成度が70%以上90%未満  
 C=達成度が50%以上70%未満  
 —=成果が確認できなかったもの

・効果区分(目標種別が「活動」の施策)

○=良い効果が得られたもの  
 △=効果が無いか、効果影響の良否が不明となったもの  
 ×=悪い効果となったもの